

平成22年度事業評価シート(ソフト事業)

1 事業名等(Plan 1)

事業名	飛騨高山ブランド振興事業							
所属名	商工観光部 商工課 商工・労政グループ							
第七次総合計画	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	分野	6 工業	基本施策	1 時代のながれに対応した活力ある工業の振興を図る	施策	1 経営体質の強化
予算科目	6	1	1	商工振興	費	61110	観光土産品奨励振興(平成22年度限り)	事業
					費	61147	飛騨高山ブランド振興事業補助金	事業
					費			事業
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等	飛騨高山ブランド振興事業補助金交付要綱							
事業の実施主体	○ 市 市以外→							
事業の実施方法	○ 直営 指定管理 業務委託 団体等補助 その他→							

2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	市内中小企業者、組合	受益者数	人
目的	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	・高山ブランドのパッケージ作成 ・地域団体商標制度を活用したブランドの展開のための事業等の経費を助成		
概要	事業の実施手法、手順	・高山ブランドのパッケージ作成委託を行うもの。 ・地域団体商標を既に取得したか、又はこれから取得しようとする事業や、地域ブランド確立計画に基づく事業に対し、補助対象経費の1/3を補助するもの。		
概要	事業始期・終期	始期: 21年度から	終期: 年度まで	設定なし
今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入 ・パッケージデザインのための仕組みづくり ・補助制度の利用促進を図るための周知			

3 事業費の推移・結果(Do)

区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
財源	総合計画計画額(当初)	0	6,000	7,000	6,000	6,000	
	総合計画計画額(計画額)	0	6,000	7,000	6,000	6,000	
	事業費	0	6,000	7,000			
	(計画・予算・見込・決算額)	0	2,441				
	国庫支出金	予算額					
		決算・見込					
	県支出金	予算額					
		決算・見込					
	地方債	予算額					
		決算・見込					
受益者負担	予算額						
	決算・見込						
繰入	予算額		0	6			
	決算・見込		220				
()	予算額						
	決算・見込						
一般財源	予算額	0	6,000	6,994			
	決算・見込	0	2,221				
H17国勢調査 96,231人 32,174世帯 ※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価							
コスト指標	受益者負担率(受益者負担/事業費)	単位	%				
	市民1人当たりコスト(事業費/H17人口)	単位	円/人	0	25		
	1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯)	単位	円/世帯	0	76		
	受益者1人当たりコスト(事業費/指標)	単位	円/人				
! その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出)							

【成果面】

活動・成果指標	活動指標 (投入した行政資源を使い、どんな活動を行ったか、どのようなサービスを市民に提供したかを表す指標)	指標名	パッケージデザイン利用者数							資料・出展 算出式	パッケージデザイン利用者数 利用件数	単位	件
			平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度				
活動	目標値			200	200	200	200	200					
	実績値												
	達成率			0	0	0	0	0					
成果	目標値			12	12	12	12	12					
	実績値			2									
	達成率			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

4 分析・評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)

(現状及び判定理由) 高山ブランドのパッケージ作成パッケージデザインを含む仕組みを構築するところであり、その効果は今後出てくるものと考えられる。
飛騨高山ブランド振興事業補助金平成21年度から開始した補助事業であり、補助によるブランド化の効果は今後出てくるものと考えられる。

A:非常に高い	B
B:高い	
C:低い	
D:非常に低い	

目的評価

②コスト面評価(事業費の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)

該当項目「1」入力(注 平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)

減少	維持	1	増加
----	----	----------	----

(判定理由) 開始したばかりの制度であり、当面、現状を維持しながら効果を検証していくものとする。

項目	②コスト面		
③成果面	増加	維持	減少
	拡大		
	維持	0	
減少			

③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)

該当項目「1」入力(注 平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)

拡大	維持	1	減少
----	----	----------	----

(判定理由) 開始したばかりの制度であり、当面、現状を維持しながら効果を検証していくものとする。

コスト・成果ポジション	
E	
第3水準	

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第1水準」 → I 「良い」 良好な水準を維持

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第2水準」 → II 「やや良い」 「I」の水準に向けた改善が必要

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第3水準」 → III 「普通」 「II」の水準に向けた改善が必要

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第4水準」 → IV 「やや良くない」 「III」の水準に向けた改善が必要

目的評価「C・D」もしくはコスト・成果「第5水準」 → V 「良くない」 「IV」の水準に向けた改善もしくは事業の休止、廃止などの検討が必要

一次評価 主管課

III

判断の理由
現状を維持しながら効果を検証していくもの

分析・評価(Check)により明らかになった課題・問題点

高山ブランドのパッケージ作成パッケージデザインを含む仕組みづくり
飛騨高山ブランド振興事業補助金平成21年度から開始した補助事業であり、更なる制度周知が必要

総合評価

コスト	成果	評価区分
中	中	III

判断の理由等
「II」以上の水準に向けた改善が必要
制度が始まったばかりであるため、判断は困難であるが、事業者ニーズなどを的確に把握しながら、継続する必要がある。
なお、本事業に限らず、広く事業者の支援制度を周知するためにも、支援制度をまとめたパンフレットの作成などが必要である。

5 今後の方向性(Action)

評価結果に対する改善提案(下記チェック)

現状維持 ■ 改善・継続 終期設定 休止 廃止 完了

当面、現状を維持しながら制度の検証を行っていく。

活動の方針

次年度の実施方針
更に補助制度の周知に努める。
パッケージの周知、利用拡大を図る。